

セキュリティを担保しつつ各種サーバーをクラウド化し、業務効率化を実現。 法定団体におけるクラウド化の成功事例



東京都社会保険労務士会

東京都 社会保険労務士会

業種 法定団体

従業員数 ー

事業所在地 東京都千代田区

主な事業内容

社会保険労務士の登録・入会の事務、
会報の発行（月刊）、会員のための
各種研修会の開催など

ホームページ <https://www.tokyosr.jp/>

導入サービス

- Amazon Web Services (AWS) / リセール
- Microsoft365 / リセール
- ギガらくスイッチ
- クラウド導入・運用サービス
- おまかせサイバーみまもり
- クラウドゲートウェイ クロスコネクト
- おまかせアンチウイルス
- フレッツ・VPN プライオ
- 保守運用業務トータルサポートサービス・ダイヤモンドサポート（一元サポート）（クラウドサポート）
- コワークストレージ

クラウド利用サービス Amazon Web Services (AWS)

サービス導入時期 2022年2月～2023年5月

ご担当者さま 総務課 課長 関口 博文さま
総務課 係長 志田 翔太郎さま
総務課 高橋 沙矢佳さま

クラウド導入前の課題

- ✓ クローズドすぎる設計のため、業務に支障が出るように
- ✓ 端末が限定されていたためデータ取得に待ち時間が発生していた
- ✓ オンプレミスサーバーの保守対応に悩みを抱えていた

NTT東日本を選んだ理由

- ✓ 各種サーバーの構築から保守運用まで一気通貫して依頼できること
- ✓ クラウド環境への接続に閉域網を使ったセキュアな接続が実現できること
- ✓ 要望に合わせて柔軟にサービスを組み立てられること

クラウド・AWS を選んだ理由

- ✓ 業務効率とBCP、そして容量の観点からクラウド化を決定
- ✓ 費用を抑えられることからAWSを採用
- ✓ AWSはインターネット上にもノウハウやナレッジが豊富

クラウド導入後の効果

- ✓ パソコンの端末に縛られず、必要なデータにアクセスできるように
- ✓ データサイズが大きい動画データも保管できるように
- ✓ 24時間365日の監視で、トラブル時には即対応も可能に

社会保険労務士法に基づいて設立された法定団体である東京都社会保険労務士会さま。東京都内を拠点とする社会保険労務士（以下、社労士）の登録管理をしています。業務上のデータや会員情報をオンプレミスのサーバー上で保護、管理していましたが、業務の効率化や今後のサービス発展を見据え、サーバーのサポート期限を機にクラウドへ移行しました。背景にあった課題や悩み、AWSや各種サービスを選定いただいた理由と成果について、お話を伺いました。

1. ご相談前の課題と背景

データを保護できるクローズドな環境の一方で、業務効率に課題を感じていた

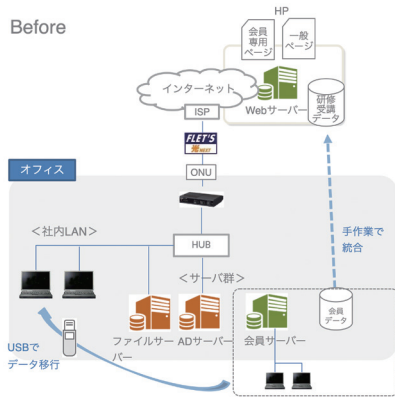
当社のオンプレミスのサーバーは、登録している社労士の会員情報などの情報が絶対に外部に流出することがないように、非常にクローズドなセキュリティ重視の設計だったことが特徴です。しかし、クローズドすぎる設計ゆえに業務に支障が出るようになりました。

職員の業務にとって悩みのひとつは、クローズドの会員サーバー側からの

データ取得に手間がかかることです。会員情報へのアクセスには限られた台数のデバイスを利用していたため、待ち時間が発生していたこともありました。

またこれとは別にWebサーバーもあったのですが、会員サーバーとは切り離されていたため、Webサーバー側で持つ情報と会員サーバーの情報の整合性にも課題を抱えていました。（志田さま）

オンプレミスのサーバーは保守契約を結んでいたのですが、サーバーの管理を負担に感じたり、不具合時の対応にも苦慮するなど課題もありました。（高橋さま）



2. クラウドを選んだ理由

業務効率とBCP、データ容量の観点から、クラウド化を決定

現在のオフィスが入居している複合施設は、年に1回計画停電が実施されるため、オンプレミスサーバーはそのタイミングで電源を落とすこととなります。計画停電の翌朝は早くオフィスに入り、業務が始まる前に急いでサーバーを立ち上げており、毎年1回とはいえ総務課の職員にとっては大きな負担でした。また、物理的なサーバーの破損や計画停電後に万が一復旧できなかった場合を想像すると不安を感じるようになりました。(志田さま)

オンプレミスサーバーの場合、導入のタイミングであらかじめ容量を決める必要がありますが、クラウドは業務に合わせて容量を増やしていけるのが高評価ですね。また、クラウド上でデータを処理するSaaSとも相性がよいこともポイントです。(高橋さま)

3. AWSを選んだ理由

AWS選定のポイントは費用と豊富なノウハウやナレッジ

まず1つ目のポイントが、今回の構成と想定されるデータ容量などの条件だと、他のクラウドよりもAWSの方が費用を抑えられることです。NTT東日本さまのAWSリセール手数料は、他クラウドより抑えられていた印象でした。

2つ目のポイントが、インターネット上ではAWSに関するノウハウやナレッジが豊富であることです。私自身、AWSを触ったことがありませんが「インターネットで調べれば何かしらは出てくる」という状況は安心できます。(高橋さま)

4. NTT東日本を選んだ理由

各種サーバーの構築から保守運用まで一貫通貫して依頼できることを高く評価

数年前からご協力いただけるパートナーさまを探していたのですが、費用は安くとも情報管理の方法が合致しないパッケージだったり、カスタマイズできてもニーズを完全に満たすことができなかつたりと、最適なパートナーさまに出会えずにいました。

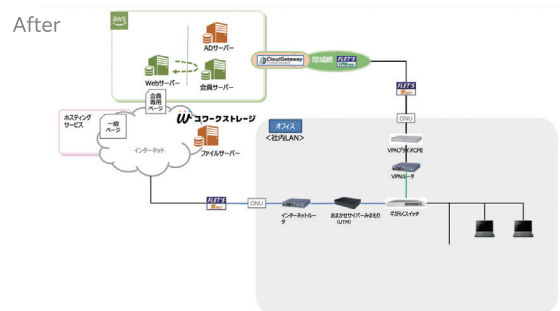
そうした状況でご提案いただけたのが、NTT東日本さまでした。一貫通貫してお取り組みいただけること、そして要望に合わせて柔軟にサービスを組み立てていただけることを評価し、正式なご依頼を決定しています。(志田さま)

5. クラウド・AWS導入後の成果

アナログなデータ管理が解消され、快適な業務を実現。動画も保存できるデータ容量を実現

クラウド化による更改による成果は、パソコンの端末に縛られず必要なデータにアクセスできるようになったことです。物理媒体でのデータ保管、移動の必要がなくなり、余計な業務を減らすことができました。また、最近ではデータサイズが大きい動画データを扱うことが急増してきました。もしオンプレミス環境のままであれば、すぐに容量上限に達していたでしょう。(志田さま)

「ダイヤモンドサポート」などNTT東日本さまの連携したサポート体制のおかげで助かったことがありました。夏の休暇明けにオフィスへ出社したところ、UTM(おまかせサイバーみまもり)が壊れていたのです。すぐにサポートの方へご連絡し、現地出張対応をお願いしたところ、当日中にはオフィスに来ていただけました。おかげで業務に大きな支障を出さずに済んでいます。(高橋さま)



6. クラウドを導入し、今後挑戦していきたいこと

社労士に寄り添い、すべての会員が電子申請に対応できるように支援していきたい

ビジネス環境が大きく変化していくなか、人事労務の領域で引き続き社労士が顧問先等の力になれるよう、私たちは会員である社労士に寄り添ってデジタル化とDXを進めていかねばなりません。そのためにも、私たち自身が変化に取り残されず、率先してデジタル化を推進していく必要があります。今回の取り組みをひとつのモデルケースとして、今後も社労士のため、そしてその先の顧問先の企業や多くの働く人々のため、積極的にデジタル活用に取り組んでいきたいと思っています。(関口さま)

※文中記載の組織名・所属・肩書き・取材内容などは、すべて2023年11月時点(インタビュー時点)のもので、
 ※事例はあくまでも一例であり、すべてのお客さまについて同様の効果があることを保証するものではありません。
 ※Amazon Web Services(AWS)は、米国その他の諸国における、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。

